

山本和

わづか

キリスト教神學者、文學博士。

明治四十二年十一月一

十八日生れ（一九〇一）。

昭和八年東京帝國大學經濟學部卒。高倉徳大

郎の影響を受け、日本神學校の學びの教師となる。十八年日本基督教團

女子神學專門學校教授、二十二年白蟻教會創設、二十七年茨城キリス

ト教大學教授。折學者山本新の兄。

著書『キリスト教實存と社會』（昭和二十二年五月）『日本人日本雄辯

會講話社）、山本節次郎著『思ひ出の手記』（信漢の告白的自伝）』

（山本新共編、昭和四十七年一月二十七日山本節次郎文集刊行会）等。